



【子宮頸がん HPV ワクチンについて】

子宮頸がんとは、特に若い 20 代～30 代で増加傾向にあるがんで、日本では毎年約 1.1 万人の女性が子宮頸がんになり、そのうちおよそ 3,000 人の女性が亡くなっています。

子宮頸がんは予防や早期発見ができるがんです。

？ 子宮頸がんの原因は ？

主な原因は「HPV（ヒトパピローマウイルス）」の感染です。多くの人が性交渉で感染し、性経験のある女性は感染しうるウイルスです。感染しても自然に治る人もいますが、体内に長期滞在するとがん化します。

予防のために今できる



① 子宮頸がん（HPV）ワクチンの公費接種について

子宮頸がん（HPV）ワクチンの接種を検討されている方は、松本市をはじめ各自治体の公費負担（無料）で接種を受けることができます。

・ 1 年生：公費対象（無料）で接種できます

・ 2 年生以降：全額自己負担となります。（3 回の接種で約 10 万円）

ワクチン接種は原則 3 回必要であり、完了までに最低 4 か月かかります。

12 月中に初回接種を受ければ、公費対象期間内の 3 月までに無料で 3 回の接種を完了できます。

※ 詳細やご不明な点は、お住まいの自治体窓口までお問い合わせください。



② 子宮頸がん検診について（早期発見）

（厚生労働省 HPV ワクチン詳細）

20 歳を迎えたら、定期的に「子宮頸がん検診」を受け、早期発見に努めましょう。

ワクチンの安全策・効果について、過去に副作用などの噂がありましたが、専門家チームの検証で因果関係はないと確認されています。効果とリスクを理解した上で接種を検討してください。心配な場合は地区の保健センターやかかりつけ内科医、婦人科医などにご相談ください。

～男子にも知ってほしい HPV について～

HPV（ヒトパピローマウイルス）は男性にも感染します。HPV が関係しているがんは、子宮頸がん以外にも中咽頭がん・肛門がんなどが報告されています。具体的には中咽頭がんの 50%、肛門がんに至っては 93% が HPV 感染によるものとされています。HPV は、多くが性交渉で感染します。女性へ感染させないためだけでなく、男性自身もがんの原因になるため、男子にも知ってほしい知識です。

※近頃、男性の HPV ワクチン接種費用の助成を実施する自治体が増えているようです。

